

1. 大会参加者への事前対応

感染拡大防止のために、以下の事項を遵守できない参加者には、他の参加者の安全を確保する観点から、大会への参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがありうる。

- (1) 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること
 - ア 体調がよくない場合。(例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)
 - イ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合。
 - ウ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合。
- (2) マスクを持参すること。(競技中以外、控室での着替えや会話をする際はマスクを着用する)
- (3) こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施する。
- (4) 他の参加者、大会関係者等との距離(できるだけ2m以上)を確保する。
- (5) 大会中に大きな声で会話、応援等しない。
- (6) 感染拡大のために主催者が決めたその他の措置を遵守し、主催者の指示に従う。
- (7) 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告する。

2. 大会参加者への大会当日対応

- (1) 体調の確認
各校の登録生徒および監督・引率者等の大会前後1週間分(計約2週間分)の体調を記録した**体調記録表(学校保管用)【別紙1】**の記録を行い、大会当日は、**大会当日体調記録表【別紙2】**にまとめて記入したものを、受付時に提出を求め、健康管理を徹底する。
- (2) マスクの準備
会場入口でマスク着用していることを確認する。競技中のマスクははずしてもよい。競技中以外、更衣室での着替えや会話をする際はマスク着用を求める。
- (3) 大会参加前後の留意事項
大会に参加する学校は、大会前後のミーティング等においても、3密を避けることや会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分配慮することを求める。

3. 大会主催者が準備などする事項

- (1) トイレ・手洗い場
 - ① トイレ内の複数の参加者が触れると思われる場所(ドアノブ・水洗トイレのレバーなど)について、こまめに消毒する。

- ②トイレのふたを閉めて汚物を流すように表示する。
- ③手洗い場には手を拭くためのペーパータオル手指消毒剤を用意する。

(2) 更衣室・待機スペース

- ①更衣室内は換気扇を常に回す。
- ②更衣室に入室できる人数を制限し、距離を保つ目印を設置する。
- ④会場内の荷物置き場は、お互いの距離が保てるように、目印を設置する。

(3) 観客の管理

- ①観客同士が密な状態にならないよう呼びかける。
- ②マスクを着用し、会話を控えるよう呼びかける。
- ③声を出しての応援は行わない。
- ④ごみは各自で持ち帰りを徹底する。

(4) 健康観察の実施

- ①大会に参加するすべての者（選手・監督・コーチ・大会役員など）検温を実施。特に選手は、監督が責任をもって検温結果を確認する。
- ②監督は、試合前に選手の健康状態（含む検温状況）を確認し、体調不良の選手については保護者および学校管理職に連絡の上参加させないようにする。選手の健康状況については、監督から各地区専門委員に報告し、専門部長は大会運営に支障がある場合には、その結果を担当理事に報告する。

(5) 三密を避ける大会運営

- ①開会式および閉会式は簡素化した内容で短時間とする。
- ②監督会議は短時間で行う。

4. 部員又は監督者（関係指導者）の感染が判明した場合

(1) 大会前

- ①部員又は引率者、監督者の感染が判明した場合、濃厚接触者と特定された者は、保健所等の指示に従う。
- ②個人競技においては欠場とする。

(2) 大会期間中

- ①発熱等の症状がみられる場合、大会出場を認めない（各学校で指示しておくこと）
- ②当日、急に症状が出た場合は、保護者および各学校管理職に連絡し帰宅させる。
- ③他の選手等の健康観察を徹底する。

※選手・監督・引率者・大会役員・補助員等の感染が判明した場合、開催可否判断を含め、福岡県教育委員会と福岡県中学校体育連盟理事会、開催地教育委員会で協議する。